

世界のデング熱流行状況(更新 34)

2010年9月13日 ProMED 情報

(1)ドミニカ共和国〔新華社 Xinhua News Agency〕

9月6日現在、死亡患者41名を含む患者21,000名以上が発生しています。全世界での死亡率は2.5%ですが、ドミニカ共和国では5.49%と高く、緊急対策が必要であると同国の保健改革委員会の委員長は述べています。

(2)プエルト・リコ〔El Nuero Herald、Associated Press(AP)report〕

連邦当局は死亡患者20名を報告しました。また、他の死亡患者12名と疑い患者11,600名が調査中です。プエルト・リコでは、1998年に、死亡患者19名と患者17,000名が発生しました。9月10日、疾病予防管理センター(CDC)によると、デング出血熱患者28名を確定診断しました。

(3)バルバドス〔Prensa Latina〕

バルバドス保健省は、2010年デング熱患者147名とデング出血熱による死亡患者2名を報告しました。6月からの高温と繰り返す降雨は、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、ドミニカ共和国、グアドループ島、マルティニーク島、およびサン・マルタン島といったカリブ海諸国でのネッタイシマカの繁殖にとって良い条件を作り出しました。

(4)ホンジュラス〔Doctors Without Borders〕

2009年と比較して、2010年は患者50,000名以上がすでに報告されました。しかし、今回の流行で最も警戒すべきことは、デング出血熱患者1,500名以上が報告され、死亡患者160名が報告されたことです。昨年より1,850%の大きな増加です。

(5)ベネズエラ〔Tal Cual Digital〕

第33疫学週(8月15~21日)までで、患者79,335名が報告されました。これは、2009年同期の3倍以上です。9月7日、保健大臣は、先週に患者300名以上の減少が認められる5州(ボリーバル Bolivar、モナガス Monagas、コヘデス Cojedes、ポルトウゲーサ Portuguesa、バリナス Barinas)は、流行が終息し、安全地帯であるとしています。

(6)ブラジル(ミナス・ジェライス Minas Gerais 州)〔Band News〕

ミナス・ジェライス州では、8ヵ月で患者数が約240,000名に達し、2009年の患者数83,000名の3倍となりました。すでに死亡患者も54名(昨年は13名)報告されています。現在、20の自治体中の60%で患者が発生しています。同州の州都ベロ・オリゾンテ Belo Horizonte では、患者65,000名以上が発生しています。